

2013

# 広報 みなみいず

7

No.517



「第30回横浜港カッターレース」



三浜小として最後の大会 『みんなで力をあわせて』

# 6月定例町議会



平成25年南伊豆町議会6月定例会が6月12日から13日まで開催され、「南伊豆町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について」など原案どおり可決されました。

## 所信表明

私はこのたび、町民の皆さまからの力強いご支援とご厚情を賜り、4月21日執行の南伊豆町長選挙で当選の榮に浴し、5月15日に就任いたしました。

責任の重大さを痛感いたしますとともに、決意を新たに職務を全うしていく所存でございます。

私の政治信条として、私たちの町を私たちが守るために、住んでいる人、一人ひとりが自ら町政に参加し、次の世代を担う子供たちに自信を持って引き継げる町づくりをするため、町民参加型町政「21世紀 わたしたちのすむまちあなたとつくるまち」をスローガンに掲げ、「町民の 町民による 町民のための政治」を進めてまいります。

町長室から積極的に外に出て、ミニ集会を開き、単なる要望の聴取ではなく、町民が行政に対し何を求め、何を期待しているのかといった生の声・提言等を対話を通じて把握し、常に町民の立場で考え、町民の皆さまと一緒にまちづくりに取り組んでまいります。

近年、人口減少社会、少子高齢化や国際化の進展、環境問題、さらには、教育問題や急速なICT革命などへの迅速かつ的確な環境整備等の対応が求められており、また、あらゆる分野で変革が進み、

地方自治体においても地方分権への対応が求められております。

そして、現在、地域の住民一人ひとりが自ら考え、主体的に行動し、その行動と選択に責任を負う「地域主権改革」が推進されております。「地方自治の本旨」の実現を目指す、まさに私の政治スローガンである「身近な民主主義」が現実となりつつあります。

この様に、大きく変化する時代にあって、自主自立のまちづくりが求められており、厳しい財政状況の中で、更なる行財政改革の推進を図りつつ、健康福祉センターの建設、そのセンターを中心とした高齢者・障害者福祉・介護・育児・医療環境の整備、石廊崎を中心とした観光のメッカとしての再生・観光産業の活性化、町有地の利活用を考慮した地域産業の活性化による雇用創出、南海トラフ巨大地震の津波高を考慮した防災・減災対策、道路網の整備、里山整備やハンターの養成等を含めた鳥獣被害対策、都市との連携や定住促進での公共用地の利活用、温泉熱の利用を考えた自然再生エネルギー政策などを中心に各事業を推進してまいります。

特に力を入れたのが、少子高齢化対策、福祉対策、医療環境の整備であります。町内の公共施設の跡地等を利用して健康福祉センターを建設し、健康福祉の拠点と

しての整備を図り、安心して暮らせるまちづくりを推進するとともに、各種補助や助成事業の強化を図り、定住促進や若者が住みやすく働きやすい活気あるまちづくりを目指し、環境整備を図ってまいります。

次に、本町の主要産業であります観光産業につきましては、町内にある自然資源を最大限活用するとともに、町内に数多くある魅力的な観光資源を有効活用し、石廊崎の再生により町内を周遊できるルートの再構築などを推進し、観光振興を図ってまいります。

また、南伊豆町の観光を、国内だけでなく、海外にも目を向けたインバウンド事業や世界ジオパーク認定に向けた活動等とも連携させて推進してまいります。

以上のほかにも、課題は山積しておりますが、主権者は町民であり、公共の福祉の増進を念頭に、議会と車の両輪となり、柔軟な行政運営で取り組んでまいります。

現在の地方自治を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、多様化・高度化する行政ニーズに効果的・効率的に応え、町民全員が住みやすく、次の世代、未来の子供たちに自信を持って引き継ぐことができる南伊豆町を目指して、職員ともども財政状況及び町内の現状等を再認識し、全員で誠心誠意取り組んでまいります。

今後4年間、町政を担うこととなり、町民から選ばれた者として、常に町民の幸せを願い、公正・公平な運営を行ってまいります。

町民の皆さまのさらなるご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、町長就任の挨拶及び所信表明といたします。

## 行政報告(要旨)

### 1 防災対策

#### (1) 平成24年度実績

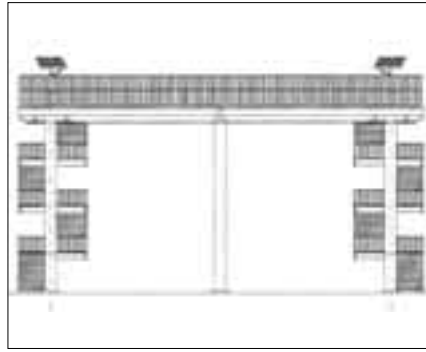
平成24年5月1日付けで、総務課内に防災室を設置し、室長以下3名体制を敷き、防災対策の強化に努め、各家庭への海拔表示シールの配布、電柱への海拔表示看板設置など「防災見える化事業」に取り組むとともに、自主防災会が行う避難地・避難路整備に対する補助制度の創設、孤立予想集落への衛星携帯電話の配備や津波予想集落への防災行政無線同報子局の新設など情報伝達網の整備充実、備蓄食料配備などを積極的に推進したところであります。

#### (2) 平成25年度事業

湊地区津波避難タワーの建設、津波避難ビル機能整備に対する補助制度の創設などとともに、静岡県第4次被害想定公表に伴い南伊豆町地域防災計画の見直しを実施いたします。

湊地区津波避難タワー建設工事は、平成25年5月31日に入札を執行し、建設工事仮契約を長田建設工業株式会社と締結したところであります。

自主防災会が行う避難地・避難路整備に対する補助制度、孤立予想集落への衛星携帯電話の配備、備蓄食料配備など、引き続き積極的に推進してまいります。



津波避難タワーモデル図

### 2 経済対策について

#### (1) 平成24年度の利子補給等の実績

中小企業事業資金融資制度の実績は128件、4億6,958万円の借り入れに対して8,249万円余の利子補給となっております。

静岡県が設置した「中小企業災害対策貸付資金制度」に係る利子補給制度につきましても、町単独事業として実施したところであります。

中小企業災害対策資金の実績は12件、1億3,470万円の借り入れに対して193万円余の利子補給、「経済変動対策資金」の実績は12件、1億6,540万円の借り入れに対して182万円余の利子補給となっております。

平成24年度の融資総額は89件、5億3,589万円、利子補給総額627万円余にのぼり、利用しやすい制度の提供ができたものと考えております。

商工会が実施したプレミアム商品券の発行事業及びショッピングモールによる販路拡大事業を支援してまいりました。

プレミアム商品券発行事業は、平成24年11月5日から平成25年3月10日まで町内参画事業所144店舗で利用できる15%の割増付き商品券5,000万円分を発行したところ、利用実績は、5,725万円で、99.57%の利用率となりました。内訳は、地元商店での利用が49.4%、大型店舗での利用が50.6%で、地域購

買力の促進が図られ、町内商業の活性化に寄与できたものと考えております。

ショッピングモールによる販路拡大事業は、34店舗がインターネットを利用したショッピングモールを立ち上げ、販路拡大に向け情報発信しているところであります。

今後、町内産業の活性化に向けて、本年3月にパートナーシップ協定を調印した金融機関等とも連携し、関係団体等を支援してまいりたいと考えております。

#### (2) 自然まつりの状況

本年2月5日から3月10日に開催された「第15回みなみの桜と菜の花まつり」の来町者数は、昨年26万7,000人を上回る28万人(前年比5%増)となりました。

さらに、今年は新イベントとして「夜桜・流れ星」を実施したところ、想像を超える反響となり、ご覧いただいた皆様から喜びの声を多くいただきました。

今後、町の素晴らしい自然を多くの方に知っていただくとともに、文化遺産等も活用しながら町内宿泊者の増加や他地域への周遊等による滞在時間の延長を目指し、もてなしの心を原点に、持続可能な発展を実現できるよう、継続して関係団体等を支援してまいりたいと考えております。



夜桜・流れ星が実施された青野川

### (3) 観光客等の入込状況

宿泊施設は、前年度対比106.25%と、東日本大震災の影響も徐々に緩和されてきたのではないかと推察されます。

観光施設は、前年度対比126.1%、温泉施設が前年度対比112.9%と、宿泊施設とほぼ同様の傾向となっております。

### 観光客等の入込状況

区分	平成24年度(人)	平成23年度(人)	前年度比(%)
宿泊施設小計	221,039	208,033	106.25
観光施設小計	139,624	110,713	126.11
温泉施設小計	104,681	92,717	112.90
合計	465,344	411,463	113.09

### 3 岩崎産業(株)との和解経過について

本年1月17日に開催されました第1回南伊豆町議会臨時会において議決をいただきました和解条項案に従い、岩崎産業株式会社が、土地の測量及び分筆登記業務を実施し、土地売買仮契約書の締結に向けて細部の調整処理をしております。和解成立後には、観光のメッカとして石廊崎を再生させるため、町民参加型町政の手法として、町民や有識者による検討組織を立ち上げ、幅広い御意見等をお伺いしながら利活用を検討してまいります。

### 4 自然エネルギーについて

平成23年度から環境省の委託を受けた独立行政法人産業技術総合研究所が下賀茂温泉地域で実施してきた「温泉共生型地熱貯留層管理システム実証研究」は、本年1月中旬に終了し、3月27日の新エネルギー利活用検討委員会及び5月11日の加納区生活新興センターにおける報告会において、当該事業者から説明をいただきました。説明では、下賀茂温泉地域では、約50本の温泉井が利用されており、1本当たり毎分約100リットルの湧出量となっていること、平均泉温は加納地区で96度、下賀茂地区で70度であること、泉質は中性又は弱アルカリ性であること、塩素濃度は加納地区から下流域に従って

低下していること、下賀茂温泉の熱源は南野山深部に中心があり、そこで約150度の温泉帯水層が生成され、青野川及び南野川方向に流動し、地表水と混合しながら下流域に流動していることなどが報告され、今後の課題として熱水の原因を特定するために南野山深部の地熱構造の調査が必要なが提案されました。

今後につきましては、南野山深部の地熱構造の調査に向けて、課題や問題点等を整理して、検討してまいります。

全文は町ホームページ「広報みなみいずコーナー」でご覧いただけます。

## 副町長に松本恒明氏が就任

❖履歴❖

昭和53年 南伊豆町役場就職  
平成11年 議会事務局係長  
平成21年 健康福祉課長  
平成22年 総務課長兼防災監



6月定例会で松本恒明氏(58歳)が選任同意され、7月1日に副町長に就任しました。

### ❖就任のあいさつ❖

平成25年6月議会定例会におきまして、選任同意を賜り、7月1日付けで副町長を拝命いたしました。

その責任の重さに改めまして身の引き締まる思いであります。

もとより微力ではありますが、梅本町長の補佐役として、第5次南伊豆町総合計画を推進し、「21世紀わたしたちのすむまちあなたとつくるまち」を実現するため、誠心誠意努力してまいります。

つきましては、町民の皆様の御指導と御協力をよろしくお願い申し上げます。

受付中



## 梅本町長の いつでも どこでも ミニ集会

「いつでもどこでもミニ集会」とは？

町長が、町民の皆さまのところに日程が合えば夜間、休日を問わずに出向いて、ミニ集会を開催します。

対象者 原則として町内にお住まいで、2名以上のグループ

申込方法 開催する2週間前までに総務課総務係に申し込みを行ってください。

開催場所 どこへでも出向きます。（ご自宅や公民館、役場など）

注意事項

- ①皆さまの希望日時に合わせて日程調整をします。しかし、職務等の都合上、ご希望に添えない場合もあります。
- ②まちづくりに資するための提言・提案等を受けるものであるため、要望はご遠慮願います。
- ③内容によっては、その場で回答できないこともあります。
- ④申込内容によっては、ミニ集会をお断りする場合もあります。

問合せ 総務課総務係 ☎62-6211

### エアコン、テレビを整備

## 青市区が宝くじの助成金を活用

（財）自治総合センターでは、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与するため、宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動備品の整備などに対して助成を行っています。

このほど、青市区では、この助成制度を活用し、エアコン、テレビ等を購入しました。これにより、青市公会堂の利便性が向上し、より活発なコミュニティ活動が期待されます。



8月1日から被保険者証(保険証)が変わります

## 後期高齢者医療制度からのお知らせ

### 1 被保険者証(保険証)について

後期高齢者医療制度の保険証は毎年8月1日に新しい保険証に代わります。

8月1日からは、7月下旬までに郵送しますオレンジ色の新しい保険証をお使いください。

なお、8月1日以降、有効期限の切れた保険証(緑色)は無効となり使用できませんので、細かく裁断し住所・氏名などが他人に知られないよう破棄してください。



↑8月1日からはオレンジ色の保険証をお使いください

### 3 保険料の決定について

平成24年中の所得に基づき、平成25年8月に後期高齢者医療保険料を決定します。4・6・8月の仮徴収により平成25年度分の保険料をすでに納付されている方は、決定した保険料額から4・6・8月に納めていただいた額を差し引いた、残りの額を納めていただくことになります。その際、決定した保険料額よりも仮徴収額が大きければ還付されます。

納付の方法は、年金差し引きによる特別徴収と、現金または口座振替による普通徴収があります。年金を受給している方は、法令により年金差し引きによる納付が原則となっていますが、申し出により口座振替による納付を選択することもできます。

### 4 保険料軽減措置について

所得の低い方や健康保険組合などの被扶養者であった方は、次のとおり保険料が軽減されます。

#### 所得の低い人に対する軽減

世帯内の被保険者全員と世帯主の総所得金額の合計額が以下の場合、軽減措置が適用されます。

- ①33万円以下の方は、均等割が8.5割軽減されます。
- ②①の内、世帯内の被保険者全員が年金収入80万円以下で他の所得がない方は、均等割が9割軽減されます。
- ③33万円 + {24.5万円 × 被保険者数 (世帯主を除く)} 以下の方は、均等割が5割軽減されます。
- ④33万円 + {35万円 × 被保険者数} 以下の方は、均等割が2割軽減されます。

また、年金収入が153万円以上211万円以下(※)の方は、所得割が5割軽減されます。

※年金収入のみの方の標準です。その他の所得がある方は基礎控除後の総所得金額等が58万円以下である場合に軽減措置が適用されます。

#### 被用者保険の被扶養者だった方に対する軽減

後期高齢者医療に加入する前日まで、「会社などの健康保険組合などの被扶養者」であった方は、所得割が課されず、均等割が9割軽減されます。

### 2 減額認定証について

減額認定証の交付を受けることで次の場合に減額が適用されます。

#### 対象者

平成25年度住民税非課税(低所得者Ⅱまたは低所得者Ⅰ)の被保険者

#### 減額の内容

入院・通院の際、減額認定証を医療機関の窓口に提示することで、食事代等が減額されます。

#### 減額認定証交付の手続き

◎既に減額認定証をお持ちの方

現在お持ちの減額認定証の有効期限は平成25年7月31日です。

上記対象者には、新しい保険証と併せて郵送しますので、申請する必要はありません。

◎減額認定証をお持ちでない方

上記対象者は、受診する前に必ず健康福祉課に申請してください。

問合せ 健康福祉課国民健康保険係 ☎62-6233

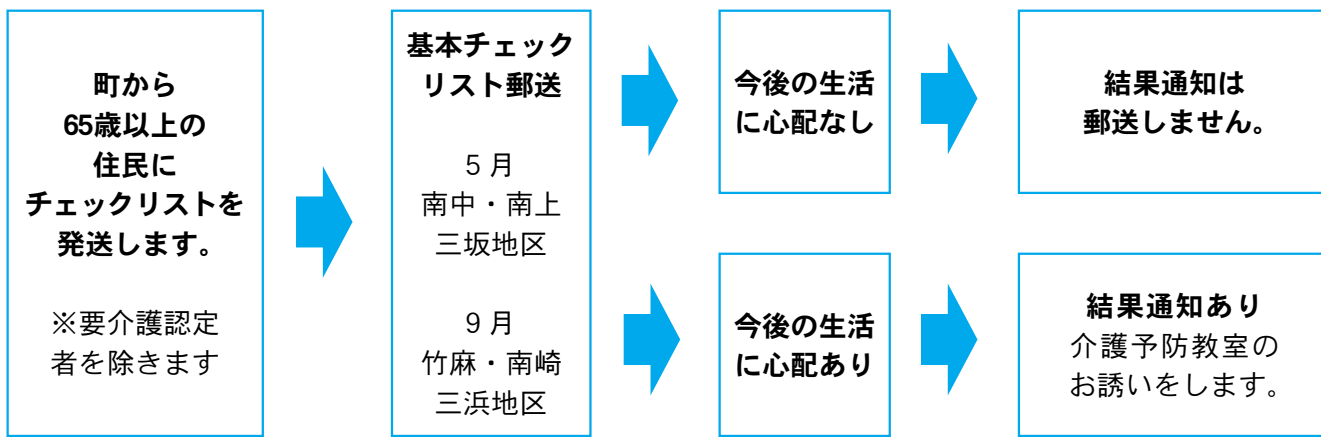
# いつまでもイキイキとくらすために 介護予防に取り組みましょう！



介護予防とは、介護が必要な状態にならないよう、心身の衰えを予防・回復しようとする取り組みです。いつまでも自立し、イキイキと自分らしく生活できるよう介護予防を生活に取り入れ、実践していきましょう。

1. まずは「基本チェックリスト（介護予防アンケート）で心身の衰えをチェックしましょう。

## ～基本チェックリストの流れ～



2. 町ではこんな介護予防教室を行っています。

### 脚力の向上

脚力を維持・向上しましょう。  
運動教室への参加がおすすめです。  
健脚教室 膝痛・腰痛ストップ講座

### 閉じこもり予防

積極的に外出し活発な生活を送りましょう。  
閉じこもり予防教室への参加がおすすめです。  
ひまわりの会・ひだまりの会

### 栄養改善

食生活を見直し体力を向上しましょう。  
栄養改善教室への参加がおすすめです。  
健口（けんこう）教室

### もの忘れ予防

生活にメリハリをつけもの忘れを予防していきましょう。  
認知症予防教室への参加がおすすめです。  
いきいき脳の健康教室・ひまわりの会・ひだまりの会

### 歯や口の元気向上

おいしく何でも食べられるようお口の健康について学びましょう。  
口腔機能向上教室への参加がおすすめです。  
健口（けんこう）教室

### 心の元気回復

必要があれば心の落ち込みを相談し元気を取り戻しましょう。  
うつ予防・支援サービス（訪問）がおすすめです。



※各教室について関心がある方は、お問合わせください。  
問合せ 町地域包括支援センター（健康福祉課内） ☎ 62-6233



### 5/20 横浜カッターレース



横浜港カッターレースに参加した三浜小生徒

第30回カッターボートレース大会が横浜市で開催され、三浜小学校が小学生特別レースに参加しました。三浜ドルフィンズ瞳かがやきチームが見事優勝し、夢きらりチームは4位と健闘しました。

### 5/29 町内小学校陸上記録会



自己記録更新を狙って懸命に走る児童たち

南中小学校運動場で町内4校4年生以上の生徒200人が参加し、陸上記録会が開催されました。「励まし合って、記録を伸ばそう！」をスローガンに記録更新を目指して全力で競技に臨みました。

### 6/2 伊浜で海中クリーン作戦



南中小学校で行われたふるさと学級開講式

伊浜漁港において海中クリーン作戦が行われました。町内外から約180人が参加し、ダイバーによる海掃除と町民などの一般ボランティアによる海岸のごみ拾いが一斉に行われ、470kgのごみが拾い集められました。

### 5/25 ふるさと学級開講



南中小学校で行われたふるさと学級開講式

教育委員会主催のふるさと学級開講式が行われ、町内4小学校から4年生以上の児童64人が参加しました。開講式後には、10チームに分かれドッジボール等のスポーツを体験しました。

### 5/25 子供自転車大会で団体優勝！



団体で見事優勝した南伊豆東小学校の選手たち

第27回交通安全子供自転車下田地区大会が大賀茂小学校体育館で行われました。町代表の南伊豆東小チームが団体の部で見事優勝し、6月22日に静岡市で開催された県大会へ出場しました。

### 6/7 図書館・学校図書室へ書籍寄贈



村越新聞店から教育長へ書籍が手渡されました

下田市の村越新聞店から学校図書室の充実と子供たちの本への関心を高めたいとして、図書館に34冊、各学校図書室に46冊の寄贈がありました。



## 6/9 賀茂支部消防操法大会



小型ポンプ操法を披露する選手たち

静岡県賀茂支部消防操法大会が下田市敷根公園駐車場に開催されました。6市町の選手たちがポンプ車操法の部・小型ポンプ操法の部の2部門で訓練の成果を披露しました。



### ポンプ車操法選手

平山善太郎  
高橋慶悟  
土屋竜矢  
藤原晃貴  
小澤寛樹  
渡邊春彦

### 小型ポンプ操法選手

齋藤皓平  
若原勇太  
佐藤豪芳  
里見佳祐  
小泉一裕

## 6/10 南上小・地元農家での田植え



一生懸命田植えをする南上小の児童たち

南上小学校の4～5年生と地元農家、老人会等による南伊豆町青市が起源である水稲「愛国」の田植えが行われました。児童は、田んぼ内での移動に苦戦しながらも一生懸命田植えを行いました。

## 6/19 南中小・南崎保育所 農業体験



協力して田植えをする南中小・南崎保育所の児童たち

南中小5年生と南崎保育所年長児、JA伊豆太陽青壮年部等による農業体験（田植え）が行われました。小学生が保育所児童をサポートしながら田植えを行いました。

## 6/20 長年の民生委員活動に表彰



表彰を受けた村山吉郎さん、吉沢かね子さん

民生委員児童委員定例会において、在任期間15年以上の民生委員・児童委員としての地域の福祉向上に尽力された村山吉郎さん、吉沢かね子さんに静岡県民生委員児童委員協議会会長から表彰状が贈られました。

## 6/20 アカウミガメのシーズン初産卵

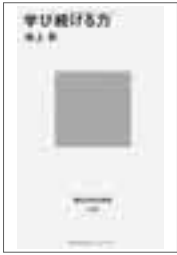


砂の中から卵を保護するウミガメ保護監視員

6月20日、弓ヶ浜海岸で今シーズン初めてアカウミガメの産卵が確認されました。ウミガメ保護監視員と職員が卵を保護するために砂の中から掘り出し、111個の卵をふ化小屋へ移動しました。

## 今月のおすすめ

## — 新着図書案内 —



**「学び続ける力」**  
池上彰著／講談社  
学ぶことは人生を豊かにする。父の背中に学んだこと。記者時代、コツコツ自学したこと。いま大学で一般教養を教える立場になって考えること。



**「美婆伝」**  
土本真紀著／講談社  
90歳を超えてなお現役のポーラレディ。働き続ける女性にとって最高の称号が「美婆」。人生を10倍濃密に楽しんで、元気に美しく生きる秘訣。

挫折を愛する 松岡修三  
信長の城 千田嘉博  
地名は災害を警告する 遠藤宏之  
消費税ほど公平な税はない 桜井良治  
ヒッグス粒子を追え フランク・クロワーズ  
膝・復活 巽 一郎  
100歳まで自分の歯を残す4つの方法 木野孔司



**「防災立国」**  
三橋貴明著／潮出版社  
災害大国でありながら公共投資を減らし続けた日本。その陰では、生活をささえるインフラの老朽化が進んでいる。日本再生への「三橋メソッド」



**「ジヴェルニーの食卓」**  
原田マハ著／集英社  
マティス、ピカソ、ドガ、セザンヌ、ゴッホ、モネ。新しい美を求め、時代を切り拓いた巨匠たちの人生が色鮮やかに蘇る。「読む美術館」

おばあちゃんのオシャレ採集 堀川 波  
つまみ細工の本 桜居せいこ  
ダルピッシュ有はどこから来たのか 松下茂典  
川瀬敏郎一日一花 川瀬敏郎  
名作うしろ読み 斎藤美奈子  
女子会川柳 シティリビング編集  
わたしは妊婦 大森兄弟  
アンナチュラル (上下) 竹内願人



**「尖閣問題の核心」**  
矢吹晋著／花伝社  
尖閣紛争をどう解決するか。「棚上げ合意」は存在しなかったか？日中相互不信の原点を探る。日米安保条約は尖閣諸島を守る保証となりうるか？

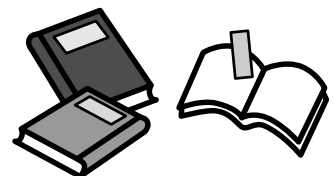


**「かんかん橋を渡ったら」**  
あさのあつこ著／角川書店  
かんかん橋を渡れば寂れた温泉町。食堂『ののや』に集まる人々に襲いかかる不況と別れ—それをふきとばせるのは、母の強さと、温かい涙。

**新刊本・ベストセラー本の  
寄贈をお願いします。**

今、図書館で大人気の本は、村上春樹作『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』・百田尚樹作『海賊とよばれた男 (上下)』です。どちらも10人以上の予約がついています。このように人気の本は複本を揃えるようにしていますが、2ヶ月、3ヶ月待ちというのはあたりまえです。

利用者の皆さんがすこしでも早く読むことができるように、新刊本・ベストセラー本などご不要になった場合は、図書館へ寄贈をお願いします。



**「永六輔のお話し供養」**  
永六輔著／小学館  
永六輔が今まで明かさなかった故人との思い出を語りおろす。渥美清さん、坂本九さんなど懐かしい情景が蘇る大人のための絵本。



**「花鳥の夢」**  
山本兼一著／文藝春秋  
稀代の名作『洛中洛外図』を描き、時代を席卷した狩野永徳。長谷川等伯への嫉妬に身悶えながら画境の極みを目指す。絵師の業を極限まで描く。



**「高峰秀子が愛した男」**  
斎藤明美著／ハースト婦人画法社  
5歳の時から、小学校にも通えず、血縁を養うために働き続けた大女優。日本映画史に名を刻む大女優が選んだ男は、名もなく貧しい青年だった。



**「想いの軌跡」**  
塩野七生著／新潮社  
イタリアに暮らして四十余年。歴史大作『ローマ人の物語』の秘話、異国から送る日本人へのメッセージ…長大な作品群を築いてきた軌跡を辿る。

# 健康レシピ

## 鮭のホイル焼き



### ここがポイント!

- ごまの風味があり、減塩メニューの1つです。
- 野菜と一緒にホイルで蒸すと、水っぽくなるので、別で炒めた方がおすすめです!

南豆味会

▷ 材料 / 2人分 ◁ (1人分 エネルギー185kcal、塩分0.7g)

生鮭……………2切れ	〈付け合せ〉
A <ul style="list-style-type: none"> <li>酒……………大さじ1</li> <li>白みそ……………大さじ1</li> <li>砂糖……………小さじ1</li> <li>すりごま……………大さじ2</li> </ul>	レモン……………薄切り
	アスパラ……………適量
	しめじ……………40g
	塩・こしょう…少々
	パセリ(乾)……………少々
	油……………小さじ1/3

▷ 作り方 ◁

- ①合わせみそを作る。A
  - ②ホイルに鮭を置き、Aをかけ、包む。
  - ③フライパンに水を入れ、包んだ鮭を並べ、蒸し焼きにする。
- 〈付け合せ〉
- ①アスパラは筋を取り、斜めに切る。
  - ②しめじは小房に分ける。
  - ③フライパンに油を熱し、塩・こしょう、パセリで味を整える。
  - ④レモンは薄切りにする。
  - ⑤最後に鮭の上のにのせる。

南伊豆町地域おこし協力隊

## 地域おこし奮闘記



## 「聞き書き」のお手伝い

南伊豆の魅力や、未来へと引き継ぐ活動です。



隊員としていろいろな地域活動を進めるなかで、地元の方から昔の南伊豆のことを教えていただく機会がたくさんあります。「草履はみんな自分で編んだもんだ」といった手仕事の話や、「昔は炭焼きが盛んで、この辺の山はみんな坊主だった」といった、かつての南伊豆の様子などなど。移住者の私にとって、とても興味深い話ばかりです。

生活様式が大きく変わり、かつての手仕事やものづくりをする方も随分減ってきました。生活範囲が集落のなかでほぼ完結していた時代ではなくなり、地域内や家族

内で昔の話題を共有する機会が減っているとも聞きます。

そんな折に、一條の山本はま子さんから「聞き書き」の活動についてお声掛けいただきました。「聞き書き」とは、地域のかつての暮らしや自然などを地元の方々から“聞き”、ありのままを“書き”とめ、文字という形に残し、未来へと引き継ぐ活動です。「ききがきや」というグループ名で、現在、地域の方々からお話を聞かせていただく作業を進めています。どんな話題でも構いません、お話を聞かせてくださる方の募集もしております。(隊員 山之内)

お問い合わせは代表の山本さん(☎090-4868-8078)まで

# お知らせ

## 下賀茂温泉地域における地熱調査の結果報告会等の開催について

独立行政法人産業技術総合研究所が平成23年度より町内において実施していた環境省委託事業「温泉共生型地熱貯留層管理システム実証研究」（下賀茂温泉地域における地熱調査）が、平成25年度をもって終了したことに伴い、本事業の結果報告会を下記のとおり開催いたしますのでご参集願います。

日時 7月27日(土) 19:00～

場所 役場湯けむりホール

内容

①下賀茂温泉地域における地熱調査結果等について

②町の今後の方向性について

問合せ 企画調整課

☎62-6288

## 県民の期待と信頼に応える警察官募集！

平成25年4月採用予定の

①警察官A（大学卒業・卒業見込み）

②警察官B（高校卒業程度）

を募集します。

詳細は、下田警察署またはお近くの交番・駐在所までお問い合わせください。

問合せ 下田警察署

☎27-0110（内線211）

## 7月は「社会を明るくする運動」強調月間です

すべての国民が、犯罪や非行の防止と罪を犯した人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない地域社会を築くため、「社会を明るくする運動」～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～として活動を推進します。

問合せ 町民課住民年金係

☎62-6222

## 8020（ハチマルにイマル）運動を知っていますか？

8020運動とは、「80歳になっても20本以上自分の歯を保とう」という運動です。20本以上の歯があれば、食生活にほぼ満足することができると言われてます。生涯楽しく充実した食生活を送り続けるためにも、健康な歯を保つことが大切です。いつまでもおいしいものを食べ続けるためにも日々の手入れを大切にしましょう。

お口の中のチェック項目

□歯がズキズキする

□熱いもの・冷たいものがしみる

□ブラッシングの時に出血がある

□口臭が気になる

□歯が欠けた、抜けた、折れた

1つでも当てはまる項目がある方は、早めに歯科医に相談しましょう。

問合せ 健康福祉課健康係

☎62-6233



## 民生委員・児童委員さんの紹介です。

5月1日付けで厚生労働大臣から上小野地区の民生委員・児童委員として廣田理さんが委嘱されました。民生委員・児童委員は、地域住民が抱える問題の相談窓口となる方です。お気軽にご相談ください。



上小野  
廣田 理さん

民生委員・児童委員の主な仕事  
・相談活動 ・情報提供活動  
・連絡情報活動 ・調整活動

問合せ 健康福祉課福祉介護係

☎62-6233

## 下田地区消防組合 職員募集

次のとおり職員を募集します。

平成26年4月1日採用

採用予定人員 3人程度

※採用予定人員は、変更になる場合があります。

受験資格等

(1) 高等学校を卒業した方または平成26年3月卒業見込みの方で、平成3年4月2日以降に生まれた方。

(2) 短期大学（高等学校卒業を入学資格とする修業年限2年以上の専門学校を含む。）を卒業した方または平成26年3月卒業見込みの方で、平成元年4月2日以降に生まれた方。

(3) 大学を卒業した方または平成26年3月卒業見込みの方で、昭和62年4月2日以降に生まれた方。

※日本国籍を有しない方および地方公務員法（昭和26年法律第261号）第16条に規定する欠格条項に該当する方は、受験できません。

試験日及び試験科目

第一次試験 10月20日(日)

教養試験及び作文

第二次試験 11月10日(日)

体力試験及び口述試験（面接）

※第一次試験合格者を対象に実施します。

受付期間

7月22日(月)から8月30日(金)

郵送の場合は、8月30日必着

試験案内・受験申込書配布

下田消防本部のほか、次の場所にも用意してあります。

〒415-0304 南伊豆町加納595-3

下田消防署南伊豆分署 ☎62-3111

問合せ・申込み

〒415-0026 下田市6丁目1番14号

下田消防本部総務課人事財務係

☎22-1829

町内の空き家物件を募集しています。「売りたい・貸したい」という所有者の方は、お気軽にお問合せください。

問 企画調整課 ☎62-6288

## 町営南上プール 7月26日オープン

町営南上プール（青野）を、下記期間で開放します。注意事項を守って楽しく遊泳しましょう。雨天の場合は開放しませんのでご注意ください。

**期間** 7月26日（金）～8月28日（水）  
9:00～12:00、13:00～16:00

下記の方は遊泳をお断りします

- ①酒気を帯びた方、体調の悪い方
  - ②危険物を所持する方
  - ③著しく風俗を乱す服装の着用者
  - ④保護者の同伴がない就学前児童
- ※駐車場は、南上保育所跡地をご利用ください。（昨年、駐車場としたプール下の駐車場、南上小学校の駐車場への駐車はご遠慮ください。）  
※スイミングキャップを必ずご持参ください。貸出しは行っていません。

**問合せ** 産業観光課 農林水産係  
☎62-6300

## こどものきこえ相談会

日常生活の中できこえが悪いのではと心配している子供に対して、聴力測定を実施し、視覚障害についての相談を行ったり、聴覚に障害があるために学習効果の上がない、あるいは集団生活がうまくできない子供を早期に発見し、問題解決の支援を行います。

**日時** 7月24日（水）、26日（金）  
10:00～12:00、13:30～16:00

**場所** 県立沼津聴覚特別支援学校  
**対象** 県内東部地区に在籍する幼児（0～6歳）・児童

**相談内容** 聴力測定、教育相談  
**申込方法**

7月12日（金）までに、当校へ電話かFAXにて連絡

**申込み・問合せ**  
県立沼津聴覚特別支援学校  
☎055-921-3398  
FAX055-923-5327

## 戸籍の窓

### 赤ちゃん誕生おめでとう

地区	赤ちゃんの名前	誕生日	父・母
石廊崎	望月 大生	5.20	直哉・真理恵

### 結婚お幸せに

地区	お名前（旧姓）	婚姻日
手石	木寺正裕・梓（向井）	5.20

### お悔やみ申し上げます

地区	氏名	年齢	月日
湊	久澤百合子	92	5.2
伊浜	齋藤ホヨ子	89	5.2
市之瀬	齋藤 孝	62	5.4
湊	溝口安次郎	88	5.8
下流	谷 吉治	87	5.12
二條	土屋 要子	63	5.14
伊浜	齋藤 綾子	89	5.15
入間	澁谷 ふく	97	5.17
青市	高橋アキエ	84	5.22
手石	谷 吉市	57	5.22
川合野	鈴木はな子	91	5.22
下小野	大野てる子	64	5.28
下小野	鈴木 利子	87	5.29
一條	高橋 房雄	82	5.30

平成25年5月1日から5月31日までに届出のあったもの（敬称略）  
※このコーナーに掲載を望まない方は、戸籍届出の時に申し出ください。

## 姉妹都市だより 長野県塩尻市



### 第38回塩尻玄蕃まつり

塩尻市の大門商店街を舞台に、7月27日（土）に「塩尻玄蕃まつり」が開催されます。

塩尻玄蕃まつりは、民話として、塩尻の地で語り継がれている伝説のキツネ「玄蕃之丞（げんぱのじょう）」を名前の由来とした市民祭です。祭りは2部構成になっていて、第1部の「GEMBAよさコン」では、高知で生まれた「よさこい」を基に木曾漆器で制作した「櫓子（ならこ）」を手にしたチームが思い思いの踊りを披露します。第2部で

は、地元企業や各種団体の皆さんによるきつねをイメージした「塩尻玄蕃おどり」で盛り上がります。

塩尻の夏を満喫できるイベントに、ぜひお越しください。

**問合せ** 塩尻玄蕃まつり実行委員会  
☎0263-52-0258



## 7月は、固定資産税、国民健康保険税、介護保険料、国民年金保険料の納付月です。

納期限内に忘れずに納めましょう。  
税金・料金の納付は便利な口座振替で。お申込みは、各金融機関窓口まで。

## 人の動き

（6月1日現在）

世帯数 3,979世帯  
人口 9,116人（-5）  
男 4,322人 女 4,794人

-----（5月中）-----

転入 27 転出 15  
出生 1 死亡 18



南伊豆空手道スポーツ少年団の河合伸明と申します。空手道を通じ、社会に適應できる人材を育成するため、主として礼儀作法や心体の鍛錬に取り組んでいます。私たちの団には、様々な目的で稽古に通う子どもたちとそれをサポートする空手好きの指導者が集まり、共に日々汗を流しています。その過程で、「身体が強くなりました。」「段位がとれて嬉しいです。」など子どもたちからのそんな言葉を聴けば、指導者全員が我が事のように喜び、涙しています。

## ま ち の 人 南伊豆空手道スポーツ少年団

目指せ！将来の全日本空手チャンピオン！

**高橋拓海**くん（南上小5年生）

第29回県少年少女選手権大会 形準優勝 第13回全日本選手権出場決定  
第56回県選手権大会 形3位 第56回全国大会出場決定

**高橋和実**くん（南上小3年生）

第56回県選手権大会 組手優勝 第56回全国大会出場決定

**中西真子**ちゃん（東小2年生）

第56回県選手権大会 形3位・組手優勝

第56回東海地区選手権大会 形優勝 組手準優勝

近年は、競技者としての活躍も目覚ましく、毎年、多数の子どもたちが優秀な戦績をおさめています。また、各地に大勢の友達ができる事も楽しみの一つにしています。県の代表選手として、拓、「全日本上位入賞」、和、「全国準優勝」、真、「世界大会出場」など高い目標を掲げ、現在、頑張っけて稽古に励んでいます。お気軽に見学に来てください。

問合せ 教育委員会 ☎62-0604

## 健康一口メモ

### 熱中症には気を付けて！

命に関わる事がある熱中症ですが、日常生活のちょっとした注意で防ぐ事ができます。

- 暑さを避ける
  - 日傘や帽子を使う ・日陰を選んで歩く
  - 扇風機やエアコンを使う（目安は室温28℃）
  - カーテンや打ち水をする
- こまめに水分や塩分を補給する
  - のどが渇く前、暑い所に出る前に頻回に水分補給をする（水分は1日1リットル以上とる）
  - 汗をよくかく場合はスポーツドリンクや冷水に梅干し、塩あめなどもおすすめ（ただし、塩分・水分制限がある方は主治医に相談）
- 服装に注意する
  - 襟元をゆるめる ・黒色系の素材は避ける
  - 保冷グッズや風通しのよい服、速乾素材の服などを取り入れる

問合せ 地域包括支援センター（健康福祉課内）  
☎62-6233

## スマイルキッズ



青市 **鈴木紗知**ちゃん（1歳6か月）

「お外がだ～いすき！車が通ると  
つい「バイバイ」しちゃうよ！」

## 広報みなみいず 7月号

発行日／平成25年7月1日  
発行／南伊豆町 編集／企画調整課 印刷／㈱サン印刷  
〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1  
TEL 0558-62-6288 FAX 0558-62-1119  
ホームページ  
<http://www.town.minamizu.shizuoka.jp/>

### 編集後記

賀茂支部操法大会では、町内消防団員の精鋭が長い訓練に耐え、堂々と訓練の成果を披露していました。入賞はありませんでしたが、今後の地元での活躍に期待します。お疲れ様でした。☎

広報みなみいずは、再生紙を利用しています。

平成 25 年南伊豆町議会 6 月定例会の開会にあたり、次の 4 項目について行政報告を申し上げます。

## 1 防災対策について

### (1) 平成 24 年度実績

東日本大震災の教訓や南海トラフ巨大地震シミュレーションを踏まえ、平成 24 年 5 月 1 日付けで、総務課内に防災室を設置し、防災係 2 名体制から室長以下 3 名体制を敷き、防災対策の強化に努めてまいりました。

平成 24 年度事業といたしましては、各家庭への海拔表示シールの配布、電柱への海拔表示看板設置など「防災見える化事業」に取り組むとともに、自主防災会が行う避難地・避難路整備に対する補助制度の創設、孤立予想集落への衛星携帯電話の配備や津波予想集落への防災行政無線同報子局の新設など情報伝達網の整備充実、備蓄食料配備など、実施可能な対策を積極的に推進したところであります。

### (2) 平成 25 年度事業

東日本大震災の教訓や南海トラフ巨大地震シミュレーション、今年度公表される静岡県第 4 次地震被害想定を踏まえ、今後の

防災対策の強化に努めているところであります。

平成 25 年度事業といたしましては、湊地区津波避難タワーの建設、津波避難ビル機能整備に対する補助制度の創設など、南海トラフ巨大地震による津波浸水区域内における安全な避難場所の確保を推進するとともに、静岡県第 4 次被害想定公表に伴い南伊豆町地域防災計画の見直しを実施いたします。

湊地区津波避難タワー建設工事につきましては、平成 25 年 5 月 31 日に入札を執行し、建設工事仮契約を長田建設工業株式会社と締結したところであります。

本件は、今議会の議案として上程いたしましたので、ご審議のほどよろしくお願い致します。

このほか、自主防災会が行う避難地・避難路整備に対する補助制度、孤立予想集落への衛星携帯電話の配備、備蓄食料配備など、引き続き実施可能な対策を積極的に推進してまいります。

今後とも、「自助、共助、公助」を合言葉に、一人ひとりが主体的に行動することにより地域や町を挙げて、災害に強い安全・安心のまちづくりを推進してまいります。



## 2 経済対策について

### (1) 平成 24 年度の利子補給等の実績

平成 24 年度において、町内中小企業者等の経営の安定及び合理化を促進し、中小企業者等の健全な発展に資するため、「中小企業事業資金融資制度」に係る小口資金利子補給、短期経営改善資金利子補給を実施いたしました。

上期利用実績は、小口資金 62 件、2 億 3,079 万円の借り入れに対して 131 万円余の利子補給、短期経営改善資金が 1 件、500 万円の借り入れに対して、8 千円余の利子補給となっており、下期利用実績は、小口資金 64 件、2 億 2,879 万円の借り入れに対して年度末に 116 万円余の利子補給、短期経営改善資金につきましても、1 件、500 万円の借り入れに対して 2 万円余の利子補給となっております。

また、東日本大震災に係る緊急経済対策として、静岡県が設置いたしました「中小企業災害対策貸付資金制度」に係る利子補給制度につきましても、町単独事業として実施したところであります。

「中小企業災害対策資金」に係る実績は 12 件、1 億 3,470 万円の借り入れに対して 193 万円余の利子補給、「経済変動対策資金」に係る実績は 12 件、1 億 6,540 万円の借り入れに

対して 182 万円余の利子補給となっております。

平成 24 年度の融資総額は、89 件、5 億 3,589 万円、利子補給総額 627 万円余にのぼり、利用しやすい制度の提供ができたものと考えております。

続いて、平成 24 年度には商工会が実施いたしましたプレミアム商品券の発行事業及びショッピングモールによる販路拡大事業を支援してまいりました。

プレミアム商品券発行事業につきましては、平成 24 年 11 月 5 日から平成 25 年 3 月 10 日まで町内参画事業所 144 店舗で利用できる 15%の割増付き商品券 5,000 万円分を発行し、町では、当事業におけるプレミアム商品券の発行経費の一部及び割増分を助成したところ、利用実績は、5,725 万円、99.57%の利用率となりました。

内訳は、地元商店での利用が 49.4%、大型店舗での利用が 50.6%で、地域購買力の促進が図られ、町内商業の活性化に寄与できたものと考えております。

また、ショッピングモールによる販路拡大事業につきましては、当初計画いたしました 50 店舗には届きませんでした。34 店舗がインターネットを利用したショッピングモールを立ち上げ、販路拡大に向け情報発信しているところであります。

販路の拡大は、継続的に必要な対策の一つであると考えておりますので、今後も、町内産業の活性化に向けて、本年3月にパートナーシップ協定を調印した金融機関等とも連携し、関係団体等を支援してまいりたいと考えております。

## (2) 自然まつりの状況

本年2月5日から3月10日に開催されました「第15回みなみの桜と菜の花まつり」の来町者数は、昨年の26万7,000人を上回る28万人（前年比5%増）となりました。

桜の開花は例年より1週間ほど遅れましたが、2月後半から3月にかけて比較的穏やかな気候の中、長期間桜を楽しむことができました。

また、菜の花につきましては、天候の影響により咲き揃うまでに日数がかかりましたが、3月に入りましてからは、ほぼ満開となり黄色のジュータンが青空に映えて、見る者に活力を与えるものでありました。

さらに、今年は新イベントとして「夜桜・流れ星」を実施したところ、想像を超える反響となり、ご覧いただいた皆様から喜びの声を多くいただきました。

未だ町内観光施設等の関係者におきましては、入込みなど

大変厳しい状況が続いておりますが、桜まつりも第 15 回目を迎えた中、お客様の評判もよく、リピーターも増えてきておりますので、町をあげた一大イベントに育ちつつあると実感しております。

今後も、南伊豆町の素晴らしい自然を多くの方に知っていただくとともに、文化遺産等も活用しながら町内宿泊者の増加や他地域への周遊等による滞在時間の延長を目指し、もてなしの心を原点に、持続可能な発展を実現できるよう、今後も継続して関係団体等を支援してまいりたいと考えております。

### (3) 観光客等の入込み状況

平成 24 年度の観光客等の入込み状況がまとまりましたので、報告いたします。

分野別に見ますと、宿泊施設につきましては、民宿宿泊客数が前年度対比 102.1%、旅館宿泊客数につきましては、前年度対比 107.8%と、一昨年におきた東日本大震災の影響も徐々に緩和されてきたのではないかと推察されます。

また、観光施設につきましては前年度対比 126.1%、温泉施設が前年度対比 112.9%と、宿泊施設とほぼ同様の傾向と

なっております。

観光施設等の入込状況				
(単位：人、%)				
区分		平成24年4月～3月	平成23年4月～3月	前年度比
宿泊施設	民宿宿泊客	58,058	56,885	102.06
	旅館・ホテル等宿泊客	162,981	151,148	107.83
	小計	221,039	208,033	106.25
観光施設	下賀茂熱帯植物園	28,066	27,014	103.89
	波勝崎苑	29,959	31,145	96.19
	石廊崎遊覧船	25,712	24,364	105.53
	一条竹の子村	1,704	1,076	158.36
	天神原植物園	2,540	3,897	65.18
	伊豆下田CC	22,720	23,217	97.86
	ジオパークビジターセンター	28,923	-	-
	小計	139,624	110,713	126.11
温泉施設	銀の湯会館	75,974	64,739	117.35
	みなと湯	28,707	27,978	102.61
	小計	104,681	92,717	112.90
合計		465,344	411,463	113.09
			(資料：観光交流客数調査)	

### 3 岩崎産業株式会社との和解経過について

本年1月17日に開催されました第1回南伊豆町議会臨時会において議決をいただきました岩崎産業株式会社との訴訟に関する和解条項案に従い、岩崎産業株式会社が、土地の測量及び分筆登記業務を実施し、土地売買仮契約書の締結に向けて細部の調整処理をしております。

処理が済み次第、岩崎産業株式会社と土地売買仮契約書を締結し、財産取得のための議決を経て、所有権移転登記を完了させることとなります。

和解成立後には、観光のメッカとして石廊崎を再生させるため、町民参加型町政の手法として、町民や有識者による検討組織を立ち上げ、幅広い御意見等をお伺いしながら利活用を検討してまいります。

#### 4 自然エネルギーについて

平成 23 年度から環境省の委託を受けた独立行政法人産業技術総合研究所が下賀茂温泉地域で実施してきた「温泉共生型地熱貯留層管理システム実証研究」につきましては、本年 1 月中旬に終了し、3 月中旬に環境省への成果報告書として取りまとめられ、3 月 27 日の新エネルギー利活用検討委員会及び 5 月 11 日の加納区生活新興センターにおける報告会において、当該事業者から説明をいただきました。

説明によりますと、下賀茂温泉地域では、約 50 本の<sup>おんせんせい</sup>温泉井が利用されており、1 本当たり毎分約 100 リットルの湧出量となっていること、平均泉温は加納地区で 96 度、下賀茂地区で 70 度であること、泉質は中性又は弱アルカリ性であること、

塩素濃度は加納地区から下流域に従って低下していること、下賀茂温泉の熱源は南野山深部に中心があり、そこで約 150 度の温泉帯水層が生成され、青野川及び南野川方向に流動し、地表水と混合しながら下流域に流動していることなどが報告され、今後の課題として熱水の原因を特定するために南野山深部の地熱構造の調査が必要なことが提案されました。

今後につきましては、南野山深部の地熱構造の調査に向けて、課題や問題点等を整理して、検討してまいります。

以上で、平成 25 年 6 月定例会の行政報告を終わります。

平成 25 年南伊豆町議会 6 月定例会の開会にあたり、  
南伊豆町長就任につき、所信の一端を申し上げます。

私はこのたび、町民の皆さまからの力強いご支援とご厚情を  
賜り、4 月 21 日執行の南伊豆町長選挙で当選の栄に浴し、  
5 月 15 日に就任いたしました。

責任の重大さを痛感いたしますとともに、決意を新たに  
職務を全うしていく所存でございます。

私の政治信条として、私たちの町を私たちが守るために、  
住んでいる人、一人ひとりが自ら町政に参加し、次の世代を  
担う子供たちに自信を持って引き継げる町づくりをする  
ため、町民参加型町政「21 世紀 わたしたちのすむまち  
あなたとつくるまち」をスローガンに掲げ、「町民の  
町民による 町民のための政治」を進めてまいります。

町長室から積極的に外に出て、ミニ集会を開き、単なる  
要望の聴取ではなく、町民が行政に対し何を求め、何を  
期待しているのかといった生の声・提言等を対話を通じて  
把握し、常に町民の立場で考え、町民の皆さまと一緒に  
まちづくりに取り組んでまいります。

近年、人口減少社会、少子高齢化や国際化の進展、環境



問題、さらには、教育問題や急速な ICT 革命などへの迅速かつ的確な環境整備等の対応が求められており、また、あらゆる分野で変革が進み、地方自治体においても地方分権への対応が求められております。

そして、現在、地域の住民一人ひとりが自ら考え、主体的に行動し、その行動と選択に責任を負う「地域主権改革」が推進されております。「地方自治の本旨」の実現を目指す、まさに私の政治スローガンである「身近な民主主義」が現実となりつつあります。

この様に、大きく変化する時代にあって、自主自立のまちづくりが求められており、厳しい財政状況の中で、更なる行財政改革の推進を図りつつ、健康福祉センターの建設、そのセンターを中心とした高齢者・障害者福祉・介護・育児・医療環境の整備、石廊崎を中心とした観光のメッカとしての再生・観光産業の活性化、町有地の利活用を考慮した地域産業の活性化による雇用創出、南海トラフ巨大地震の津波高を考慮した防災・減災対策、道路網の整備、里山整備やハンターの養成等を含めた鳥獣被害対策、都市との連携や定住促進での公共用地の利活用、温泉熱の利用を考えた自然再生エネルギー政策などを中心に各事業を

推進してまいります。

特に力を入れたいのが、少子高齢化対策、福祉対策、医療環境の整備があります。町内の公共施設の跡地等を利用して健康福祉センターを建設し、健康福祉の拠点としての整備を図り、安心して暮らせるまちづくりを推進するとともに、各種補助や助成事業の強化を図り、定住促進や若者が住みやすく働きやすい活気あるまちづくりを目指し、環境整備を図ってまいります。

次に、本町の主要産業であります観光産業につきましては、町内にある自然資源を最大限活用するとともに、町内に数多くある魅力的な観光資源を有効活用し、石廊崎の再生により町内を周遊できるルートの再構築などを推進し、観光振興を図ってまいります。

また、南伊豆町の観光を、国内だけでなく、海外にも目を向けたインバウンド事業や世界ジオパーク認定に向けた活動等とも連携させて推進してまいります。

以上のほかにも、課題は山積しておりますが、主権者は町民であり、公共の福祉の増進を念頭に、議会と車の両輪となり、柔軟な行政運営で取り組んでまいります。

現在の地方自治を取り巻く環境は厳しい状況にありますが、

多様化・高度化する行政ニーズに効果的・効率的に応え、町民全員が住みやすく、次の世代、未来の子供たちに自信を持って引き継ぐことができる南伊豆町を目指して、職員ともども財政状況及び町内の現状等を再認識し、全員で誠心誠意取り組んでまいります。

今後4年間、町政を担うこととなり、町民から選ばれた者として、常に町民の幸せを願い、公正・公平な運営を行ってまいります。

町民の皆さまのさらなるご理解とご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げますとともに、ますますのご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ、町長就任の挨拶及び所信表明といたします。